

今後の進め方について

1. ワーキンググループの設置の必要性について

- TCFD 提言では、気候変動に起因する企業への影響を財務的に分析して開示することや、企業の将来的な情報等も含めて開示すること等が推奨されており、これまで一般的に採用されてきた開示の枠組みとは異なる点も多い。そのため、企業の情報開示における実務担当者が対応に苦慮しているところ。
- こうした状況を踏まえ、日本企業の強み・アピールすべき点、情報発信に当たってハードルになっている点等について、具体的な開示項目・方法等について、TCFD 提言に対応した形で、詳細な検討を行っていただくため、企業の情報開示の実務担当者にご参集頂き、より専門的な議論を行う場（ワーキンググループ；WG）を設置して議論を進めることとしたい。
- このように、実務担当者が抱えている課題解決の観点からの検討と、経営レベルからの検討を併行的に行い、トップダウン・ボトムアップの両面の意見を踏まえつつ、企業の積極的な情報発信に資するガイダンス（仮）を取りまとめる。

2. スケジュールについて

